



「本人ミーティング・リーフレット」を作成しました!!



名古屋市認知症相談支援センター

名古屋市認知症相談支援センターでは、本人ミーティング・リーフレット「認知症とともに歩む人のまなざし～届けよう、本人の声～」を作成しました。

認知症に限らず、誰にも打ち明けられない試練に直面したとき、あなたならどのようにして救いを求めますか。

本やインターネット、SNSなどで、同じ試練を経験している人の体験談やメッセージを探し、その言葉が孤独と孤立に風穴を開けたとき、厳しい現状に対峙する覚悟が決まり、その先にある希望の光を目指し、新しい人生の物語を紡ぎ始める人も多いのではないのでしょうか。

当事者の声は私たちに、ともに歩む勇気と覚悟を決める後押し、そしてこれからの生き方を示してくれます。

一方、当事者が声を上げやすい環境をつくることは社会の責務です。

「自分と同じ病気で苦しむ人たちに笑顔を届けたい！」認知症の人本人が社会に向けて声を上げるときの動機です。

この動機の背景には、認知症に関する先入観や誤解、偏見が未だ社会の中に根付いていることを示唆しています。

認知症を特別な病気と捉えるのではなく、認知症の人が体験している世界や抱えている心情を想像し、共感できる人が増えることで、画一的で否定的なイメージを払しょくできるはずです。そのためには、私たちも当事者の声に耳を傾けなければなりません。

当たり前のことですが、本人ミーティングの場でのみ、声を上げるわけではありません。日常の中で多くのつぶやきを発しています。私たちはそのつぶやきをしっかりと拾い上げ、それを社会に届けることが求められています。

なお、認知症の私たちは認知症になる前の私たちの連続した命の物語の延長線上にいることは言うまでもありません。

